

事務事業名		簡易水道原水浄水維持管理事業			会計		簡易水道		事業種別		経常		開始		終了		
課等名		水道課			係等名		維持係										
基本計画上の位置づけ		政策		4		暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
		施策		45		居住基盤の向上											
目的	対象(誰・何を)	市営簡易水道事業										指標名及び単位		24年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	適正に原水浄水施設を維持管理することにより、公衆衛生の向上と生活・事業基盤の向上を図る										簡易水道事業数		1			
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度															
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)								
	成果指標	適正に維持管理された施設数 / 全施設数 × 100%			100	100	100										
	定性目標																
事業概要	原水浄水施設を適正に維持管理することにより、水道法に定められた給水水質を満たした安全安心な水道水を安定的に供給する。																
24年度事業内容	事業内容				名称				活動指標								
	1 原水浄水施設維持管理 2 水質定期検査 3 水質毎日検査(3項目)				1 浄水配水施設数 2 定期検査箇所数 3 毎日検査箇所数				1 52箇所 2 45箇所 3 23箇所								
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足											
事業費計(千円)①		37,321	43,520	39,238	50,576												
国庫支出金																	
県支出金																	
起債																	
その他		14,869	24,619	28,553	25,398												
一般財源		22,452	18,901	10,685	25,178												
人件費計(千円)②		1,144		1,144													
正規職員所要時間		320		320													
臨時職員所要時間																	
総事業費①+②		38,465	43,520	40,382	50,576												
事業内容・目標達成状況の振り返り	適正な施設維持管理ができ、安全安心な水道水を安定的に供給できた。																
改革改善の考え方	①問題点	水道事業は専門技術、知識、経験が必要であり、熟練した職員の養成が必要である。															
	②改革提案	水道職員の適正な経験年数の確保。															